加費無料(オンライン開催)

開催日:2024年(令和6年)3月7日(木曜日)~8日(金曜日)※2日間

土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法

食料生産~消費システム(フードシステム)全体を対象とした物質循環と環境負荷の把握、 改善策の提示、具体的な行動への移行は、産学官全てに関わる重大な社会的課題となっており、 国連SDGs(No.12:責任ある消費と生産、など)や農林水産省「みどりの食料システム戦略」の 目標達成にも深く関わっている。

本ワークショップでは、特に窒素に焦点を当て、産学官から広く参加者を募り、農地土壌を介した 食に関わる窒素循環とその改善策について、解析・予測技術の習得だけでなく、総合討論を 行い、今後の研究交流につなげることを目指しております。

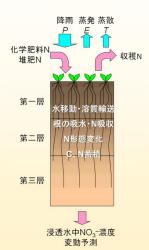


農林水産省「みどりの食料システム戦略」トップページ

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/



▲食に関わる窒素フローを階段状の滝に見立てた模式図



講義と実習の概要

【3月7日(木)】

10:00~10:05【挨拶】「本ワークショップについて」 江口 定夫 (農研機構 農業環境研究部門)

10:05~11:00【実習】「土壌を介した食の窒素循環、窒素フットプリント概説」、江口 定夫

11:00~12:00【実習】「土壌中の窒素動態予測モデルLEACHM概説」 朝田 景(農研機構 農業環境研究部門)

13:00~16:00 【実習】「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測(1)」朝田 景、江口 定夫

16:00~17:00【実習】「質疑応答」、江口 定夫、朝田 景

【3月8日(金)】

10:00~11:00【実習】「食の窒素フロー、耕畜食連携システム概説」 江口 定夫

11:00~12:00 【実習】「食の窒素フットプリント計算ソフトによる評価手法 」 江口 定夫

13:00~14:00【実習】「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測(2)」朝田 景、江口 定夫

14:00~15:00 【実習】「土壌からの窒素溶脱等モニタリング手法」、江口 定夫、朝田 景

15:00~16:00【実習】「総合討論、質疑応答」 江口 定夫、朝田 景

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターからライブ配信にて開催。 受講方法 インターネット環境とPCがあれば、自席からご参加頂けるオンライン形式です。 農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター

国立研究開発法人農業·食品産業技術総合研究機構

産学官の研究者・技術者・行政施策担当者等で、土壌を介した食の窒素循環の解析技術に関心のある方

15名程度(参加費は無料です。全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。) 募集人数

農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 土壌資源・管理グループ コーディネーター 主席研究員 江口 定夫・ 主任研究員 朝田 景

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ ワークショップのお申込み方法&お問い合わせ ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇



お申込み方法について

筑波産学連携支援センターのホームページより、お申し込みください。

※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書と 申込アンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口から 申込方法: 左記により令和6年2月1日(木曜日)までにお申し込みください。(必着) 受講者決定:令和6年2月8日頃、メールにてお知らせいたします。

筑波産学連携支援センター ホーム

Q 検索 ★詳しくはHPをご覧ください。

《お問い合わせ先》